

高機能素材活用 官民で産業創出

事業方針確認 新組織発足

炭素繊維強化プラスチック（CFRP）など高機能素材を活用した産業創出を目指す「とくしま高機能素材活用コンソーシアム」の設立会が29日、徳島市の県立工業技術センターであり、会員企業・団体から55人が出席して事業方針や今後の計画を確認した。

高機能素材にはCF



事業方針などを確認した「とくしま高機能素材活用コンソーシアム」の設立会＝徳島市の県立工業技術センター

RPやセルロースナノファイバー（CNF）があり、軽くて強度が高い特長がある。航空機の機体や車のボディのほか、椅子や高齢者用紙おむつなどに使われており、さらに幅広い分野での応用が期待されている。

コンソーシアムには35の県内企業や大学、金融機関、県などが加盟。設立会では、徳島大大学院理工学研究所の高木均教授（複合材料工学）を会長に選んだ。2016年度事業

として、家具や建材の製造企業とCFRPの製品開発に向けた研究を進めるほか、素材の特長や加工方法を学ぶ講座と実習を展開することが報告された。

この後、高木教授が新素材の特長や全国の活用事例を解説し、「可能性のある材料で、どの機能を生かすか戦略を立てることがコスト面でも大事。徳島ならではの応用を見つけて全国に売ってきたい」と述べた。

（大塚康代）